

炭酸ランタン水和物（ホスレノール）顆粒の剤型変更後の効果

長崎腎病院

○田賀農恵、宮崎沙弥香、久保純子、丸山祐子、矢野未来、江藤りか、
宮崎健一、李嘉明、原田孝司、船越哲

【背景・目的】

炭酸ランタンチュアブル錠は十分に噛み砕く必要があり、患者個々の意識や咀嚼能力により効果が異なる可能性あり、チュアブル錠と顆粒のリン低下効果作用の差異につき検討する

【対象】

当院外来透析患者でチュアブル錠を等量の顆粒へ変更し得た 13 名。

【結果】

血清リン値は低下する傾向にあったが有意差はなかった。BMI の小さい症例は有意に血清リン値は低下した。チュアブル錠内服時の咀嚼との関連はなかった。透析歴 16 年以上の症例で有意に血清リン値は低下した。

【考察】

炭酸ランタンは、剤型をチュアブル錠から顆粒に変更することにより血清リン値低下作用が増強される可能性がある。顆粒変更によるリン低下率と透析歴が相関する可能性があったことにより、今回の検討ではチュアブル錠内服時の咀嚼数と顆粒への変更によるリン低下率に関係が低かったことより、チュアブルの必要咀嚼数を順守すること一般的に困難なのかもしれない。